

南天白通信 REOプロジェクト 広報版 第10号

今回は、2月9日に出した、広報版の第2弾です。今回は、何気なく行われているのに、皆の役に立っていたり、周囲を気持ちよくさせたりしている行動を取り上げました。今回も同じような人たちですが、特に「人との関わりをととても大切にしているな」と感じられる人たちを紹介しましょう。

【Aさんについて】

○ 体育でCDを流す機械を女の子が持っていて、それに気付いたAさんが「持ってくよ」と言ってくれて、すごいやさしいなと思った。

【Bさんについて】

○ Bさんは、転校生とか、いろんな子に積極的に声をかけて、いろんな子と仲良くなって、フレンドリーな人で、すごいと思いました

【Cさんについて】

○ 私は話す人がいなくて暇なとき、Cさんに話しかけます。Cさんは、話しかけると話に付き合ってくれたり、勉強で分からないところを教えてくれたり、練習に付き合ってくれたりするから、ありがとうって言いたいです。

【Dさんについて】

○ Dさんは、百人一首大会が盛り上がるように、グループ内でいろいろな子に話しかけたりしていてすごいと思った。

【Eさんについて】

○ Eさんは、放課や下校をするときなどに、いつも気軽に話しかけてくれて、毎日楽しいです。人見知りな私にとって、とても心強い存在です。本当にありがとう！

【Fさんについて】

○ Fさんは、授業で分からないところを細かく教えてくれるし、自分がメガネを忘れて黒板が見えなかったときに、さりげなく気をつけてくれたりして、とてもうれしかった。小さなことにもよく気付いていて、心がイケメンだなと思いました。

【Gさんについて】

○ Gさんは、みんなに平等でやさしいです。体育の授業で一緒に考えるところは一緒に考え、いい案が出たときは教え、分からない子がいたときは、その子が分かるまで教えて一緒に練習していた。

【Hさんについて】

○ 体育の授業でダンスをアレンジするとき、私も班の人もアイディアが浮かんでも、いい案だという自信がなくて、ぜんぜん進んでなかったけど、Hさんがどんどん案を出してくれるから、私も案を言えるようになりました。他の人がしゃべりやすいようにすることができてスゴイと思いました。

☆ 何となく引っ込み思案で「自分から進んで人と関わるのが苦手だなあ」と思う人もいます。そんな人にとっては、CさんやEさんのような人は、大切な存在なのだと思います。いてくれるだけで、何となくホッとしますよね。

また、周囲の雰囲気が今一つ盛り上がりず、何とかしたいと思うけど、自分ではちょっと…というとき、Bさん、Dさん、Hさんみたいな人がいたら心強いですよ。ね。「じゃあ、ちょっと自分も頑張ってみようか」という気持ちになります。

そして「ちょっと困った」と思ったとき、さりげなく助けてくれるAさんやFさんのような人。そのありがたさは、助けてもらった人し分からないでしょうね。

「人との関わりを大切にする」。

その方法は様々で、これが1番正しいというものはありません。自分のできる範囲で、無理のない方法で…。それで大丈夫だと思います。

今回の例を見ても、「人との関わりを大切にする」方法は様々。でも、思いはちゃんと伝わっているようですから。